



市民の木(平成9年指定)

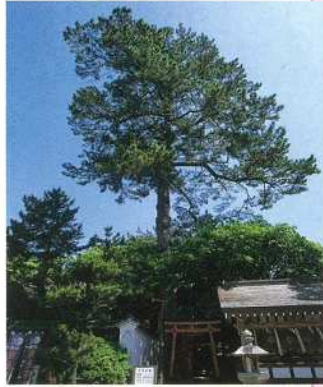
東灘区森北町4丁目17-11 稲荷神社境内

1 森稲荷神社のアカマツ

樹種 アカマツ

高さ 20m 幹周 3m

枝張 14m



境内の北にそびえるアカマツ

- 連なる朱の鳥居のそばに一段と背の高いマツが天空に向かって伸びている。
- 同神社にはかつて兵庫県下最大と推定され市民の木にも指定されていたアカマツがあったが、残念ながら枯損してしまった。現在もその切株は境内右手中ほどに残っており、在りし日の雄大さを今に伝えている。



市民の木(昭和51年指定)

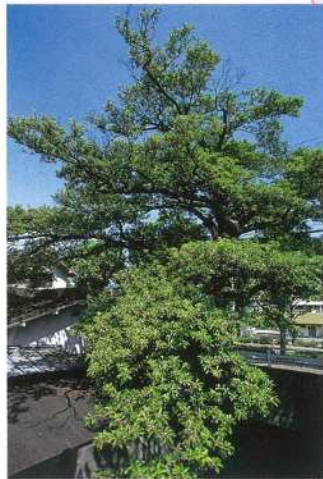
東灘区本山北町2丁目2-20 要玄寺境内

2 要玄寺のモチノキ

樹種 モチノキ

高さ 14m 幹周 2.5m

枝張 12m



黒々と枝を張るモチノキ

- 要玄寺川沿いの塀の中に黒々と枝を張って生い茂っている。
- 5月には小さい花を木いっぱいにつける。
- 山手幹線道路建設の際、樹木を守るため歩道部分が橋梁化された。



市民の木(昭和49年指定)

神戸の名木指定

東灘区本山北町6丁目2-28 鷺宮八幡神社境内

3 鷺の森のケヤキ

樹種 ケヤキ

樹齢 約800年 高さ 16m

幹周 5m 枝張 22m



昔日の名残をとどめる一本のケヤキ

- 昔はうっそうと茂った森があり、鳥が巣をつくり、鷺の森と呼ばれていた。このケヤキにとまったカラスが長く鳴くと、必ず村に不幸があると信じられていた。
- 明治の初期から森は切り開かれていったが、このケヤキだけが現在も残り、昔日の名残をとどめている。





市民の木(昭和51年指定)

東灘区西岡本4丁目25 村上邸内

4 村上邸の
ムクノキ

樹種 ムクノキ

高さ 17m 幹周 3.8m

枝張 16m

住宅街に力強く
生い茂るムクノキ

- 明休寺の西側の住宅街にある。
- アスファルトで舗装された道路のそばに根を張って、地面の石を巻き込みながら力強くそびえ立っている。



市民の木(昭和51年指定)

東灘区魚崎北町4丁目767-3 住吉川左岸線歩道上

5 住吉川沿いの
クロマツ

樹種 クロマツ

高さ 16m 幹周 2.5m

枝張 17m

松林の名残を
とどめるクロマツ

- 住吉川にかかる新反高橋を東に渡った歩道上にあり、道路にかぶさるように枝を広げている。
- 住吉川沿いはクロマツ並木になっており、なかでもこのマツは昔の松林の名残をとどめている。



市民の木(昭和51年指定)

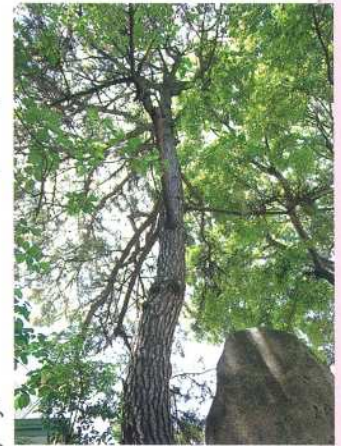
東灘区魚崎西町4丁目276 魚崎西町市民公園

6 雀の松原の
クロマツ

樹種 クロマツ

高さ 12m 幹周 1.7m

枝張 9m

古来の景勝地に
残るクロマツ

- 魚崎一帯の浜辺の松原は、古来、雀の松原と呼ばれ、山陽道(西国街道)沿いの景勝地だった。
- このクロマツは、当時の名残をとどめる1本で、横には雀の松原の由来を歌った2つの歌碑が立っている。



市民の木(昭和49年指定)

東灘区住吉宮町7丁目1-2 本住吉神社境内

7 本住吉神社の
ムクノキ

樹種 ムクノキ

樹齢 約800年 高さ 7m

幹周 2.2m 枝張 13m

旧西国街道に
面した名木

- ムクノキが茂る前の歩道は江戸時代ににぎわった旧西国街道に面している。
- 大正15年、神社が塀を建てる際、この名木を残すために木を囲むように工夫したといわれている。
- 毎年5月4、5日に行われる本住吉神社の例祭には7基のダンジリが出て、大勢の人出でにぎわう。



市民の木(昭和49年指定)

東灘区御影町郡家字千本田129-2 中勝寺境内

8 中勝寺の
イチョウ

樹種 イチョウ

高さ 17m 幹周 2.8m

枝張 11m

墓地に木陰をおとす
イチョウの大木

- 山手幹線に面する境内西側の墓地の中にあり、白いお堂の脇に森のように茂っている。
- 中勝寺は15世紀後半に創建され、1767年に火災に遭い、その後再建された時にこの名称になった。



市民の木(昭和51年指定)

東灘区西平野字伊賀塚49 巖島神社境内

9 巖島神社の
ムクノキ

樹種 ムクノキ

高さ 18m 幹周 3.4m

枝張 11m



クスノキとともに豊かな神社林を形成

- 神社の社殿に向かって右手にあり、根元は石垣で覆われている。
- 周囲のクスノキと一体になって住宅街の中で緑豊かな神社林を形づくっている。
- 当初はクロマツ、アカマツ、ムクノキの3本が市民の木に指定されていたが、マツ枯れなどによりムクノキだけが残った。



市民の木(昭和51年指定)

東灘区御影中町5丁目1 御影中学校西側校門前歩道上

10 西国街道
名残のクロマツ

樹種 クロマツ

高さ 9m 幹周 1.5m

枝張 9m

往時の西国街道に
アーチ状にかかるクロマツ

- 江戸時代の大名行列が通っていたころの西国街道の面影をわずかに残す並木の一本だといわれている。
- 震災の被害の大きかった地域であるが、御影中学校西門前の歩道上に立っているこのクロマツは被害もなく、今も児童を見守り続けている。



市民の木(昭和51年指定)

東灘区御影塚町2丁目263 東明八幡神社境内

11 東明八幡神社の
クスノキ

樹種 クスノキ

高さ 15m 幹周 2.4m

枝張 12m

鳥居のそばに
まっすぐそびえるクスノキ

- 国道43号に面した東明八幡神社の鳥居をくぐると、すぐ右手に高速道路より高くそびえている。
- 御影塚町一帯は旧東明村で、中世には当時の徳井村(現灘区)から見て遠くに見えるので「遠目の浜」と呼ばれたのが神社名の由来。



市民の森(昭和50年指定)

兵庫県環境緑地保全地域指定

東灘区本山町北畑ザクガ原860、同字祓御860-1

1 保久良神社

構成
樹種 ヤマモモ、
クロガネモチほか

面積 15,500㎡



樹齢100年を超えるヤマモモ林が見事

- 兵庫県下最大と認められているヤマモモ、クロガネモチがある。ヤマモモは雌雄別株で、雌木は6月ごろに実がなり、食用にもなる。
- この森のヤマモモの林は樹齢100年以上といわれ、クロガネモチ、クスノキ、スギなどとともに自然性の高い森林となって優れた風致景観を形成している。
- 昭和50年には、神社境内の西側に保久良梅林が開かれ、ヤマモモ林とともに市民の憩いの場となっている。



市民の森(昭和49年指定)

東灘区御影町郡家弓弦羽森1810

2 弓弦羽神社

構成
樹種 エノキ、クスノキ、
クロマツ、アカラシ、
クロガネモチほか

面積 2,900㎡



自然林らしさが残る静寂な森

- 市街地には珍しくシイ、アカラシ(最も多い)などがあり、自然らしさの残る森。
- もとはユズリハ(譲葉)の木が多かったところから神社の名がついたといわれているが、現在ユズリハはなく、何本かのヒメユズリハがみられる程度である。
- 鳥居をくぐると大きなムクノキがあり、ウバメガシ、トベラ、イスノキなど海辺に多い照葉樹が生育している。
- 市内では数少なくなったクロマツの並木も残っているほか、春には参道のサクラのトンネルと拝殿横のシダレザクラが美しく咲く。

